

大学発の最新技術で、
京都市の社会課題を解決！

次世代産業×大学発ベンチャー 社会課題解決のための技術開発プロジェクトの実施について

京都市及び(公財)京都高度技術研究所では、京都地域における科学技術の振興と地域産業の発展を図るため、産学公連携による研究開発支援、事業化支援等を展開しています。

この度、京都市の社会課題の解決に取り組む大学研究者に助成を行う「次世代産業×大学発ベンチャー 社会課題解決のための技術開発プロジェクト」を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

本事業では、次世代産業の創出に寄与する大学の研究成果を社会実装につなげることで、大学発ベンチャーの起業を後押しするなど、京都産業の活性化を推進します。

記

1 事業概要

(1) 目的

京都市が安心・安全で持続可能なまちづくりを進めるうえでの社会課題を提示し、その解決につながる研究開発を行う大学の研究者に助成することを通して、社会課題の解決及び研究開発成果の社会実装につなげます。これにより、大学発ベンチャーの起業・成長の機会を創出するなど、京都産業の活性化を推進します。

(2) 応募対象者

京都市内に設置されている大学・短期大学において研究を行っている者

※他の都道府県の大学の研究者、研究機関及び企業と共同研究をしている内容も対象となります。

(3) 応募内容

以下の4つの社会課題の解決につながる研究開発

①防災・減災の推進に寄与する技術の開発

②観光・交通対策を推進する技術の開発

③インフラメンテナンスに活用可能な技術の開発

④農林業の振興に寄与する技術の開発

※応募者1人につき応募テーマは1件のみ。

(4) 募集期間

令和4年4月18日(月)～5月17日(火) ※郵送の場合、当日消印有効

(5) 申請方法

以下のURLから必要書類をダウンロードいただき、原則として「配達証明(郵便)」又は「簡易書留」、「宅配便」にて提出してください。

<https://www.astem.or.jp/whatsnew/topics/20220418-33502.html>

(6) 助成金額

ア 助成金額

上限130万円(間接経費を含む。)

イ 助成率

10/10

(7) 助成対象期間

採択決定日～令和5年2月28日(火)まで

(8) 選考方法

申請内容について、審査委員会によるプレゼンテーション審査を実施し、採択者を決定します。

※応募者多数の場合は、一次審査として書類審査を実施します。

(9) 選考結果の通知等

採択決定通知書又は不採択決定通知書を各申請者に送付します(令和4年6月上旬予定)。

(10) 採択予定件数

3件

2 問合せ・書類提出先

公益財団法人 京都高度技術研究所 (アステム)

地域産業活性化本部 京都市桂イノベーションセンター

〒615-8245 京都市西京区御陵大原1-30

京都大学大学院工学研究科イノベーションプラザ棟1階事務室

TEL: 075-391-1141 E-mail: kkiec@astem.or.jp

【参考】令和3年度に採択された研究内容（3テーマ）

課題テーマ	水資源の再利用を促進する技術の開発
採択研究者	京都大学大学院工学研究科 流域圏総合環境質研究センター 助教 竹内 悠
研究開発内容	多様な水源にフィットする下水の再利用を目指すとともに、災害時の生活用水の安定供給に役立てることを目的に、水資源の再利用を推進するための膜処理・促進酸化処理システムの構築に関する研究開発を実施。 今後、膜処理後の殺菌処理に関係する研究者や企業等との協業も含め、社会実装に向けた技術構築を行っていく予定。

課題テーマ	脱炭素化を推進する技術の開発
採択研究者	京都大学大学院工学研究科 助教 富田 修
研究開発内容	次世代エネルギーである水素を化石燃料や電気を使わずに生成するために、太陽光に多く含まれている可視光と光触媒を用いて、水素及び酸素を効率よく発生させる可視光応答型光触媒を用いた水分解による水素生成の構築に関する研究開発を実施。 今後、試作した新設計セルを活用して、社会実装に向けた基盤技術を確立させるとともに、水素生成装置のスケールアップを図るための協業先を探索予定。

課題テーマ	インフラメンテナンスに活用可能な技術の開発
採択研究者	京都工芸繊維大学 機械工学系 助教 東 善之
研究開発内容	高度成長期に建造された、多くの橋梁について、点検作業が追いついていない課題に対し、橋の裏側の H 鋼の点検に焦点を当てて、ドローンを用いた鋼製インフラ点検のための技術構築に関する研究開発を実施。 今後は、企業との協業を含め、フィールド実証を通して点検に資する技術を確立させ、事業化を目指す予定。